

巻 頭 言

TMI 総合法律事務所顧問 堀 龍 児

この 3 月末日をもって早稲田大学教授を定年退職しましたが、**Law&Practice** の発刊からかわり、**Law&Practice** の会長であった立場から一言申し上げるものです。

2004 年 4 月から法科大学院がスタートしましたが、その 2 年後の 4 月頃に村方君（初代編集長）、河崎君、井桁君などの未修一期生が、私に **Law&Practice** を立ち上げたいので協力してほしい、まず大学教授のサポートが必要であり立ち上げ資金が必要であるが、これがなかなかうまくいかないとのことでありました。私は、USA ではかかる編集は大変名誉なことであり、日本では初めてのことであるため、早稲田大学としても良いことであり、サポートしましょう、私の兄貴分の奥島孝康先生も必ず応援していただけるからと返事をしました。また、資金面については私の親しい弁護士や経済人などの人脈を活用して支援を求めましょう、それにはまずキックオフパーティをリーガロイヤルホテルで行って宣伝と資金集めのスタートとしましょうとのアドバイスをしました。早速、その 6 月にパーティーを行い、沢山の方々が出席されて大盛況であり、多くの支援を頂きました。

Law&Practice は、その後も学生に次々と受け継がれ、当初心配された筆者についても、そうそうたる先生方が書いて下さったり、学生の実稿も掲載されて、法律専門誌として価値あるものとなりました。また、当初 **Law&Practice** にかかわる時間があったら勉強をするべきとの意見もありましたが、**Law&Practice** のメンバーから司法試験に合格する者が多数あり、法曹として活躍していることもあって、**Law&Practice** のメンバーになる学生は毎年結構いる状況です。

Law&Practice を維持、発展させるには、編集、出版にかかる資金を必要としますので、これからも皆様にご支援の程をよろしく申し上げます。また、タイ

ムリーに **Law&Practice** の活動状況を広報するためにも、パーティーに参加してください。私は、会長を退任しましたが、**Law&Practice** へのご指導・ご協力をよろしくお願いします。さらなる **Law&Practice** の発展を期待しています。

目 次

(第8号)

〔特集〕 スポーツと法

特別座談会

- スポーツ問題に法律家がどのように関わっていくか 浦川道太郎 1
 道垣内正人
 望月浩一郎

論 説

- 学校教育と課外スポーツ活動
 ——課外スポーツと学習権の保障—— 浦川道太郎 39

〔論 説〕

- 公害健康被害補償法と水俣病認定制度
 ——制度の歴史から考える—— 畠山 武道 53

憲法における匿名表現の意義

- 政治資金規正法における匿名寄附の禁止を素材にして——
 吉原 裕樹 95

「被害者の素因競合事例」に関する刑事判例と

- 結果的加重犯の真の問題点 杉本 一敏 129

詐欺罪における法益侵害と財産的損害

- 設楽 裕文 159
 淵脇千寿保

預金債権の特定に関する最高裁決定の意義と課題

- 差押債権者の「特定責任」からの分析—— 内田 義厚 185

民事訴訟改革三本の矢

—失われた15年となるか?—

西口 元 207

JAPANESE JUDGMENTS AND THE COMMON LAW OF PRECLUSION

Asa William Markel 235

〔座談会〕

コンテンツと法

—近時の問題を題材に—

上野 達弘 253

白田 秀彰

市村 直也

〔講演録〕

なぜ弁護するのか

高野 隆 279

CONTENTS

(No. 8)

How Lawyers Deal with Sports Issues in Japan

—URAKAWA Michitaro

—DOUGAUCHI Masato

—MOCHIDUKI Koichiro

School Education and Extracurricular Sports:

Extracurricular Sports and the Rights to Studying

—URAKAWA Michitaro

Minamata Disease and Pollution-Related Health Damage Certification System:

A Historical Perspective

—HATAKEYAMA Takemichi

Meaning of anonymous expression guaranteed by Constitution:

Analyzing prohibition against anonymous contribution

by Political Fund Control Act

—YOSHIHARA Yuki

What is the real point in dispute about the case of the victim with physical illness:

Causation or mens rea?

—SUGIMOTO Kazutoshi

Die Verletzung des Rechtsgutes und Vermögensschaden beim Betrug

—SHITARA Hirobumi

—FUCHIWAKI Chizuho

The Significance and Problems of the Supreme Court's Decision on

the Identification of Deposit Credit:

An Inspection from the Viewpoint of the Specific Responsibility of the Creditor

—UCHIDA Yoshiatsu

Three solutions to reform of civil procedure:

Lost fifteen years?

—NISHIGUCHI Hajime

JAPANESE JUDGMENTS AND THE COMMON LAW OF PRECLUSION

—Asa William Markel

Contents & Law:

The Current Issues in Intellectual Property

—UENO Tatsuhiko

—SHIRATA Hideaki

—ICHIMURA Naoya

Why Defend?

—TAKANO Takashi